



共に育つ

第9号



「ありがとうの感謝」の思いを皆様へ

校長 井上 英明

令和4年度も間もなく終わろうとしています。令和2年の年明けから始まった新型コロナウイルス感染症も3年が過ぎ、来年度5月には感染症法上の2類相当から5類に移行するとの方針が出されるなど、新たな段階へと歩みを始めました。その最中にある今の学校生活は、マスク着脱の対応をはじめ、様々な転換期にあるといえ、希望の中にも不安が入り混じった難しい局面にあるといえます。それだけ、3年間のマスク生活は子供たちにとって非常に大きな重荷となるものでした。学校が休校になった年に赴任し、それから3年間、縁あって本校で学校運営を任された私ですが、常に心掛けてきたことは、子供の心に寄り添う、子供ファーストの学校経営でした。コロナ禍が続いた今年度も、子供のことを考え、決して学びを止めないとの強い覚悟で学校経営に尽力をしてきました。

学校行事等は、保護者の理解と協力を得ながら、教職員とできる方法を考え、取り組んできました。修学旅行、集団宿泊訓練、校外学習、出前授業、運動会、参観日、遠足等々、対外的な行事は、すべて実施できました。中でも、校内音楽会と道後っ子マラソン大会は、昨年度、できなかった行事だっただけに、今年度、実施できたことは、感慨深いものがありました。子供の感想を読むと、実施に至るまでの努力、当日の頑張りと達成感、達成感などが書かれており、その中で保護者の方が常に励まし、支えてくださったことなどが随所に伺え、本当にありがたかったです。

また、今年度の学校経営のキャッチフレーズは、「い・の・上・の『あ』を目指す」とし、その『あ』とは、「あいさつと返事」「ありがとうの感謝」「あしたも元氣」の3点を掲げ、呼び掛けてきました。挨拶も返事も、私はとてもよくできるようになったと思うのですが、学校評議委員会委員さんからも、校内だけでなく、地域の方にも道後っ子は大変よく挨拶ができるとの言葉をいただき、うれしく思いました。「ありがとうの感謝」については、コロナ週間で感謝のメッセージを伝える取組を行っており、私の手元にもカードが届くなど、感謝の気持ちの形となって相手に伝わることで、道後っ子の優しさが広がっていると実感しています。

さらに、今年度も学校生活等の状況を振り返り、次年度に生かすため、子供、保護者、教職員を対象とした学校生活に関する2回のアンケート（7月、12月）を行いました。結果は、すでに公表しているところですが、「あしたも元氣」の指標につながる「学校に楽しく通っている。楽しく学習している。」という質問に対する肯定率は、子供96%、保護者94%でした。日常の学校生活や学習等への楽しみが、明日も学校に行きたいと思える活力となっているのではないかと考えます。

最後になりましたが、今年度も保護者及び地域の皆様には、大変お世話になりました。引き続き、今後も子供のため、学校教育活動にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

道後っ子広場～3学期の遠足～

一年三組

おべんとうは、こましおふりかけが、はじめて入っていておいしかったです。いろいろなおべんとうとおにこっこをして、つかまることもあったけど、とてもたのしかったです。

一年四組

ともだちとたくさんあそんで、とてもたのしかったです。おかあさんのおべんとうがおいしくて、のこさずたべました。一年生のおわりに、たのしいおもい出がつくれました。

みんなと楽しい楽しい遠足

二年一組

じん社などをめぐって、一番いんしようにのこった場所よは、えんまん寺です。とても大きな地そうさまがいて、いあつかんをかんにしました。もんだいは、その地そうさまがしゅやくで、「だからの玉は、どっちの手にもっている。」です。こっちから見たら右手にもっているけど、地そうさまと同じ方向をむいて、同じポーズをしたら左手でした。

三年生さい後の遠足

三年一組

二十八日は、三年生さい後の遠足でした。みんな楽しく遊んで、はしゃいであせをかくほどでした。とっても楽しい一日でした。おべんとうは、みんなで円になって食べました。みんなえ顔で、とてもいい思い出ができたと思います。四年生になっても、この思い出は、心にのこしておきたいと思います。本当に楽しい一日でした。



楽しかったウォークラリー

四年一組

こう法大しろうへ続く山道が急だったのでも、とても大変でした。と中で何度も休けいしながら登ったので、着いたときにはとても達成感がありました。また、ポイントでの問題に答えるときには、はんのみんな協力できました。ぼくは、岩ぎきに初めて来たので、「こんなに大きな岩を切りくずして工事をしたなんて、すごいな。」と感心しました。四年生最後の遠足で、よい思い出ができてよかったです。

ワンチームプロジェクトを終えて

五年一組

5年生はワンチームプロジェクトとして、校内でのイベントを企画しました。ぼくは、みんなを楽しませるために、マジックをひろうしました。人前でやったことがなかったのですが、方法を調べて、何度も練習をしました。本番はすごく緊張しましたが、少し失敗したところもあったけど、みんなの笑顔を見て、楽しんでくれたのだと分かり、とてもうれしかったです。これからみんなの仲を深めたいです。

道後めぐりを振り返って

六年一組

小学校生活最後の遠足は、道後めぐりで、たくさん場所に行きました。クイズに答えながら、それぞれの場所の歴史や由来を知ることができました。道後の歴史をこれから大切にしていきたいです。また、道後商店街で買い物しました。友達と買い物するのは、とても楽しかったです。足湯にも入ることができたので、大満足です。班のみんなと協力して、思い出に残る遠足になりました。



2月28日に、お別れ遠足がありました。
1年生は道後公園散策コース、2年生は寺社巡りコース、3年生は石手川緑地公園（中村一丁目）、4年生は遍路橋コース、6年生は道後めぐりで、5年生はワンチームプロジェクト（校内遠足）でした。

1年 道後公園



2年 道後村めぐり



3年 石手川緑地公園



4年 弘法大師像



5年 ワンチームプロジェクト



6年 道後温泉:飛鳥の湯



思い出アルバム集会



6年生入場



2年:ダンスダンスメモリーズ



1年:フレフレ6年生



3年:なわとび対決



4年:思い出クイズに挑戦



5年:書道パフォーマンス



6年生からのメッセージ



校長先生からの
プレゼント



ありがとう6年生

